

2020年11月12日
イオンディライト株式会社
(証券コード：9787)

お客さま、地域社会に「安全・安心」を提供する業界・地域No.1の専門家集団へ
「第2回 イオンディライト技術コンテスト【設備事業の部】」を開催

全国8支社から選抜された代表チームが集い、「災害発生に伴う停電復旧対応」を競技

イオンディライト株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長兼社長執行役員 グループ CEO：濱田和成、以下「当社」）は、2020年11月11日に研究・研修施設「イオンディライトアカデミーながはま（滋賀県長浜市）」にて「第2回 イオンディライト技術コンテスト【設備事業の部】」（以下、「本コンテスト」）を開催しました※。

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策のため、最小限の来場者にて開催するとともに、検温・手洗い・消毒を徹底し実施しました。



本コンテストは、「第2回イオンディライト技術コンテスト」として、2020年11月に実施する事業別（設備管理、警備、清掃）技術コンテストの第1弾※1として執り行うものです。

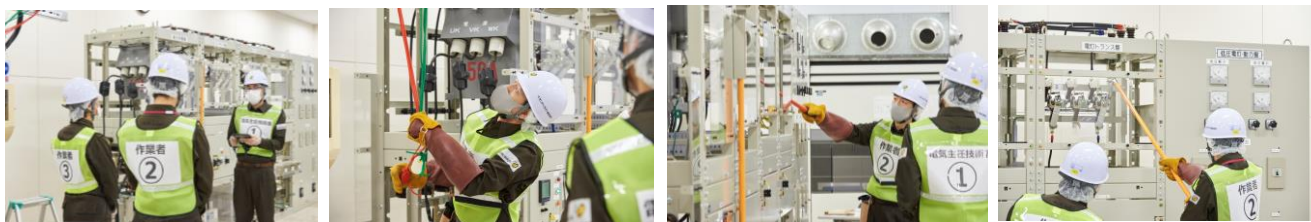
第2回となった本コンテストでは、全国8支社より、各支社内で選抜された設備管理員によって構成される代表チームが参加し、「災害発生に伴う停電復旧対応」をテーマに競技を実施しました。各チームは、電気主任技術者である責任者と作業員2名の3人1組となり、高圧引込ケーブルの地絡※2発生により商業施設で停電が発生したケースを想定し、安全に配慮しながらも、いかに迅速かつ正確に停電原因を特定し、復電できるのか、を競い合いました。審査にあたっては、電気主任技術者としての知識と技術を活かした作業手順の正確性やスピードはもとより、作業前安全ミーティングを含めた作業員自身の安全を守るための、コミュニケーションを通じたチームワークの良否も問われました。

審査の結果、電気主任技術者による的確な指示命令によりメリハリがありつつも、安全に作業が行われていたことや技術力のみならず、お客さま対応での明確かつ丁寧な対応が評価され、東北支社代表が最優秀賞に選ばれました。

※1 第2弾、第3弾につきましては、2020年11月19日に「第2回 イオンディライト技術コンテスト【清掃事業の部】」、11月20日に「第2回 イオンディライト技術コンテスト【警備事業の部】」を実施する予定です。

※2 地絡とは、地震や水害といった災害などにより、本来、絶縁されていなければならない電路が、大地と電氣的に接続されてしまった状態のこと。

【競技の様相】



- 左から一番目：作業前ミーティングで健康チェック、服装点検など作業員の安全とともに作業の段取りを確認
左から二番目：受電設備を解放状態にする、左から三番目：検電を実施、左から四番目：復電作業を実施

■ 審査員として、ご参加いただいた一般財団法人関西電気保安協会 事業本部 保安部 保安推進グループ チーフマネージャーの米澤一敏さま、同シニアマネージャーの山上晴夫さまからのご講評

「全体的にキビキビした態度で真摯に作業に臨んでいる様子が印象的で、各チーム甲乙つけがたい内容だった。イオンディライトの技術力は十分高く感じたが、更に細かい手順をマニュアル化することで、より安全性向上に繋がるのではないかと思う。また今回の災害対応というテーマや、競技中に（お客さまである）店長や工事会社からの問い合わせを盛り込むなど、単に作業手順の是非に留まらず、よりリアルな『現場』を再現しながら開催されていた点は、当協会でもぜひ、取り入れていきたい。引き続き、こうしたコンテストなどを通じた更なる専門家育成に期待したい。」

■ 当社社長 濱田による総括

「活気あるコミュニケーションや俊敏さ、お客さま（店長）や工事会社からの問い合わせに対する丁寧な対応など、競技の点数だけでは評価できない現場の価値を随所に感じる事ができた。とりわけ、各チームに共通して言えることは、元気な対応で、実際の現場でもいきいきと仕事に取り組む姿を想像できて嬉しく感じた。

当社は現在、更なる持続的成長に向けた変革の最中。そして、変革の起点は、お客さまとの接点である現場に他ならない。今後、現場を中心に真に『お客さま第一』の企業となっていくための体制を整備していく。一方、変えてはいけないのが、現場の技術力とそれを絶えず研鑽していこうとする意識や仕組みである。日本で一番お客さまや地域社会から信頼されるファシリティマネジメント企業となるために、引き続き、こうした技術コンテストを通じた『技術力』や『人間力』の向上に取り組んでいきたい。」



● 優勝した東北支社代表チーム

写真左から、永野 朗さん、濱田社長、平栗 誠さん、加藤 孝行さん

当社は、更なる持続的成長に向けて、2018年10月にイオンディライトビジョン2025を掲げ、アジアにおいて、「安全・安心」、「人手不足」、「環境」の3つを成長戦略の柱に社会課題を解決する環境価値創造企業を目指していくことを決めました。これを実現していくため、「人間力」と「技術力」を兼ね備えた専門人材を育成し、期待を上回るサービスの提供を通じて、お客さま満足度をより一層高めることを目的に2019年より「イオンディライト技術コンテスト」を開催しています。

自然災害は様々な地域で甚大な被害を発生させ、企業においては、新型コロナウイルスへの対応と合わせた被災時の事業継続性が問われ続けています。

当社は、さまざまな取り組みを通じて、引き続き、設備管理における専門性を高め、お客さまのBCP対策の強化を含め、施設とその周辺環境の「安全・安心」に貢献してまいります。

— 本リリースに関するお問い合わせ先 —

イオンディライト株式会社 デイライトコミュニケーション部
TEL：03-6840-5712 FAX：03-3524-8902